

## こころホスピタル草津 看護部ラダー表

レベル	I 新人	II 一人前	III 中堅	IV エキスパート	V 上級エキスパート
おおよその経験年数	0～1年	2～5年	6～8年	8～10年	10年以上
レベル毎の定義	サポートのもと、基本的なルーチン業務を元で実施できる。	日常的なルーチン業務を単独で行ない、ルーチンでない業務についても遂行ができる。	ルーチン業務以外の複雑な業務を行なえ、後輩への指導も実施できる。	高い専門性を有し、様々な状況において、その専門性に基づくケアが実施できる。	予測困難な状況において、部署内でのリーダー的存在として他スタッフを先導できる。
業務遂行能力 目標 日々の業務能力等	助言を受けながら、安全な看護を提供することができる。	基本的な看護援助に加え、ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を提供することができる。	ケアの受け手や状況(場)の特性を把握し、その状況(場)に応じた看護を提供することができる。	様々な技術を選択・応用し、看護を提供することができる。	最新の知見を取り入れた創造的な看護を提供することができる。
協働する力 目標 他者とのコミュニケーション能力等	助言を受けながら、自部署の関係者と情報共有ができる。 (チームの一員としての認識をもつことができる)	自部署だけでなく、他部署の関係者とも協調性を持ち、他部署を含めたチームとしての意識が持てる。	ケアの受け手に関する必要な関係者(多職種を含む)と情報共有・連携ができる。	ケアの受け手をとりにくく多職種の力を調整し、連携できる。	ケアの受け手の複雑なニーズに対応出来るように、多職種の力を引き出し連携に活かすことができる。
意思決定を支える力 目標 倫理的な面での対応能力等	ケアの受け手やその周囲の人々の意向を知ることができる。	ケアの受け手やその周囲の人々の意向を看護に活かすことができる。	ケアの受け手やその周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる。	ケアの受け手やその周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる。	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる。
マネジメントする力 目標 自分の仕事に関するマネジメント 医療安全やコスト意識等	助言を受けながら、仕事についての優先順位をつけることができる。 医療安全についての基本的な知識を得る事ができる。	自らが報告連絡相談を行い、仕事についての優先順位をつけ、実践できる。 医療安全のマニュアルに沿ったリスク管理が行える。	自分自身の仕事に加え、他スタッフのサポートを行える。 部署目標を理解したうえで、医療安全のマニュアルについてケアの受け手個人の状況を踏まえて活用する事ができる。	他スタッフに指示を行いながら、病棟業務を円滑に進める事ができる。 ニアミスや事故について問題解決に向けた取り組みを実践する事ができる。	他部署を巻き込みながら病棟業務を円滑に進める事ができる。 部署全体のリスクマネジメント管理に取り組むことができる。
自己研鑽・変革する力 目標 自己研鑽、研究等	助言を受けながら、自己の学習課題を明確にすることができる。	自ら学習課題について取り組むことができる。 看護についての疑問点を持ち、看護研究に取り組むことができる。	各部署の教育計画にそって、勉強会等を主導で行うことができる。	病棟の業務改革等を行い、自身の知識・技術を他者に伝え、活かすことができる。 自部署だけでなく、委員会等の活動も行うことができる。	研究指導を行うことができる。 委員会活動を通じて、病院全体の業務改善等にも取り組むことができる。